

# 計算 用紙

まい月

# はじめに

本書は著者が試してみたいと思うことをリストするという体でLaTeXとTikZを練習する文書である。

# 目次

はじめに	ii
目次	iii
<b>1 ステ이블コインのようなもの</b>	<b>1</b>
1.1 目標	1
1.2 状況	1
1.3 ためしてみたい解決策	1
1.4 心配なところ	2

# Chapter 1

## ステーブルコインのようなもの

まずブロックチェーンに何か1つは価値のあるトークンがありスマートコントラクトが実装されている状況を前提として、それ以外の便利なものは一旦前提としない。

### 1.1 目標

ステーブルコイン、すなわちトークンの価値が法定通貨と概ね連動すればよい。ただ今回は一旦本当のやりたいことを含むようにより広い範疇で「ブロックチェーンの外にあるものの価値と概ね連動するトークンを中央の管理者なしに実現すること」を実際の目標とする。

### 1.2 状況

ブロックチェーンで流通するトークン🍎を裏付けとして、ある価値🍎と連動したトークン🍌を発行したい。

### 1.3 ためしてみたい解決策

次のようなスマートコントラクトを考える：

1. ガバナンス又はハードコードによって  $0 < L$  なる  $L$  を決める。
2. 参加者は🍎 $n$ この  $L$  倍の価値を超える数量の🍌をスマートコントラクトに預けて、 $n$ この🍌と、このポジションを表現するトークン鑄造してもらう。
  - (a) このとき鑄造してもらったものを返してburnしてもらうことで預けた🍌を全部返してもらえる

3. スマートコントラクトは🍎と🍌をAMMかオーダーブックなどのうち、なにかいい方法で売買する機能もつけておく
4. 最後取引された価格で、損しているポジションがあれば、ポジションを強制決済する。
  - (a) このときポジションを表現するトークンはburnされる

## 1.4 心配なところ

流動性不足が圧倒的に心配である。また連動するかというところも心配である。